

担当課評価について

◎	・抜群に効果的な取組を行った（明解な理由を付してください） ・想定以上の成果を上げた	0
○	・効果的な取組を行った ・一定の成果を上げた ・大きな課題や問題点はない	139
△	・一部の取組を行った ・多少の成果を上げた ・課題や問題点がある	5
×	・取組を行わなかった ・取組を行ったが成果は上がらなかった ・大きな課題が残った	2
一	・事業終了 ・今年度該当なし ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	6

区分の表記について

次世代	青梅市次世代育成支援地域行動計画から継承する事業
子・若	青梅市子ども・若者計画
貧困対策	青梅市子どもの貧困対策計画

1 子どもが伸びやかに育つまちづくり

(1) 子どもが安心して楽しく過ごせるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
1	福祉のまちづくりの推進	次世代	「青梅市福祉まちづくり整備要綱」および「東京都福祉のまちづくり条例」にもとづき、施設、歩道、公園などのバリアフリー化を進めます。	都の補助金が令和3年度で終了のため、主な改修には至らなかつたが、バリアフリー化が進んでいない施設等へ改修を働きかける。	一	地域福祉課
2	福祉マップの改定	次世代	①平成22年度に作成した福祉マップを保護者の視点を参考に、必要に応じ改定します。 ②次期改定時に、福祉マップのホームページ化を検討します。	他自治体や他団体のホームページを参照して掲載内容の確認はましたが、実際の改定やホームページへの掲載方法の関係各課との調整を行うことはできなかった。	×	地域福祉課
3	有害環境対策の推進	次世代 子・若	事業者や地域住民とも連携し、性や暴力などの子どもに対する有害情報の自主的規制を推進します。	ビデオソフト販売店およびレンタルビデオ店経営者の4者に対し、子どもに対する有害情報の自主的規制を依頼した。	○	子育て応援課
4	子どもの交通事故や災害被害のないまちづくりの推進	次世代 子・若	①警察等と連携し、交通安全総点検を実施して、通学路の安全確保に努めます。 ②子どもに対する交通安全教育の充実を図ります。 ③自転車ヘルメット購入費の助成を実施します。	①交通安全総点検を実施し、通学路の安全に努めた。 対象校：新町小学校（12/18）、霞台小学校（12/23） (交通政策課)（都市整備部管理課）（土木課）（学務課） (市民安全課) ②小学生、中学生を対象に交通安全教室を実施し、自転車の交通ルール・マナーを学び、交通安全の徹底を図った。 ・青梅市自転車運転免許証交付事業 対象：小学3年生（市内小学校16校） ・自転車安全教室（スクエアード・ストレイト） 対象校：泉中学校（5/7）、新町中学校（6/18）、吹上中学校（11/22） (交通政策課) ③自転車ヘルメットを事業協力店で購入しようとする市民に対して、ヘルメット1個につき2,000円の助成を実施することで、自転車ヘルメットの普及を図り、交通事故による被害の軽減に寄与した。（交通政策課）	○	交通政策課 都市整備部管理課 土木課 学務課 市民安全課
5	子どもを犯罪等の被害から守るまちづくりの推進	次世代 子・若	①通学路などに街路灯などの整備を図ります。 ②子どもや保護者に対して犯罪等に関する情報提供を速やかに行うとともに、全校でのセーフティ教室などを行います。 ③防犯パトロールや「子ども110番の家」など、防犯ボランティア活動を促進します。	①青梅市管理の街路灯はLED灯に整備済みである。必要に応じて街路灯を設置した。（都市整備部管理課） ②不審者等に関する情報について速やかに周知するとともに、全小中学校でセーフティ教室を実施した。（指導室） ③青少年問題協議会および補導連絡会において、関係機関と市内の犯罪・非行に関する情報交換を行った。（子育て応援課） ④学校、保護者で組織する「子ども安全ボランティア」の防犯パトロールにスクールガードリーダーが同行し、防犯活動の支援を行った。「子ども110番の家」については、新規登録の受付、表示旗の一部更新を行い、令和7年3月31日現在の登録件数は1,969件であった。（教育総務課） ⑤各地区の自主防犯組織において、防犯パトロールおよび啓発活動を行った。（市民安全課）	○	市民安全課 子育て応援課 都市整備部管理課 教育総務課 指導室
6	子育てにやさしいまちづくりの推進	次世代 子・若	子育て世帯の定住や転入を促すため、子育て世帯への入居支援と合わせて、その受け皿となる良質な住宅の供給に努めます。	市営住宅の空き室募集を行い、入居した11世帯のうち、1世帯が子育て世帯でした。 また、東京都が実施している「東京こどもすくすく住宅供給促進事業」の周知を図りました。	△	住宅課
7	公園・緑地、児童遊園の活用	次世代 子・若	都市公園、児童遊園の定期的な施設の点検・清掃、遊具の更新などの管理を行います。	都市公園、児童遊園等については、利用者の安全・安心および快適な利用環境を確保するため、清掃業務、樹木手入れ業務、設備保守点検業務および遊具施設等点検業務などの管理業務を実施した。 また、上記業務の中で公園施設の不良箇所が確認されたものについては、使用禁止措置や修繕を実施し利用者の安全の確保に努めた。 さらに、公園施設長寿命化計画に沿った取り組みとして、公園の遊具の一部について更新を行った。	○	公園緑地課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名
8	公園・緑地内の緑地管理ボランティア育成	次世代 子・若	公園・緑地内の緑地を管理するボランティアの育成を図ります。	①緑地管理ボランティア… 新型コロナウイルスによる令和2年度からの活動休止が令和5年度に明け、令和6年度は本格的な再開を行い、永山公園および畠中戸山公園内の緑地管理作業等を計9回行つた。 3月8日（土）には、青梅市役所にて意見交換会を実施し、令和6年度の活動の総括および令和7年度の活動計画についての協議を行つた。 活動を通じてボランティアの育成を行つた。 ②大塚山いこいの森ボランティア… 1月18日（土）に大塚山いこいの森（大塚山公園内）での樹木への樹名板の取り付け体験および、第四小学校体育館での「ネイチャークラフト教室（自然の素材を使った工作体験）」を実施し、四小・自治会等・緑地管理ボランティア会員合わせて37名の参加があつた。 ③青梅の森植保プロジェクト… 植保プロジェクト会議における意見交換や、青梅の森でのカシナガファイルトランプ調査、ヨシ狩り、風の子太陽の子広場再整備に伴う自然環境調査を協働により行うことで、ボランティアの育成を図つた。	○	公園緑地課
9	自然環境を生かした子育て環境づくり	次世代	恵まれた自然環境の中で、子どもたちが集い、遊び過ごせる場所づくりを検討します。	公園において、子供たちが安心して自然にふれ合えるよう園路および植栽等の管理作業を実施した。風の子太陽の子広場においては、管理棟の改修や体験小屋の新築等を行い、再整備事業が完了となった。（公園緑地課） 外遊び型子育てひろば「はらっぱ」を実施し、公園を利用し自然の中で親子での子育て遊びの場を提供した。（子育て応援課）	○	公園緑地課 子育て応援課
10	子育て支援事業の拡充	次世代 子・若	市民センターなどを会場にした子育て支援事業を拡充するとともに自治会館などの既存施設の活用の拡大を図ります。また、ボランティアの協力を受けながら運営の充実を図ります。	市民センター等9か所において、子育て支援事業（センターひろば）を実施した。また、N P Oに委託し、出産後間もない母親や、未就学児の母親に向けた育児講座「B P」（B Pプログラム）を実施した。	○	子育て応援課

（2）「生きる力」を育む教育の推進

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名
11	就学前教育の充実	次世代 子・若	市民センターや体育館などにおいて、地域の実情に応じ、児童のための教室を設け、学習機会を提供します。	指定管理者自主事業として登録制教室「運動知育（3・4歳クラス、5・6歳クラス）」を実施した（参加者延べ604人）。（スポーツ推進課） 子育て支援に関する講座「親子スキンシップ教室」を8か所8回ずつ実施し、日曜日の家族参加型イベントとして「あつまれ！親子スキンシップ教室」を全3回実施した。 乳幼児向け体験イベント「あつまれ！0・1・2・3ちびっこ☆ランド」を実施した。（参加者延べ36人）（子育て応援課）	○	子育て応援課 スポーツ推進課
12	学ぶ意欲と基礎学力の向上	次世代 子・若	①教師の研究活動や研修の充実を図り、楽しい授業、分かる授業のできる教師の育成を図ります。 ②授業日数の弾力化により授業時数の充実を図ります。 ③登録制度などを活用し、市民講師による、実体験にもとづいた興味のもてる授業の充実を図ります。 ④学校図書館の充実とともに読書活動の充実を図ります。 ⑤小・中学校一貫教育により、9年間を通じた指導の充実を図ります。 ⑥東京都の補助事業を活用した学力向上施策の実施により、児童・生徒に基づき・基本の習得を図ります。	①I C T活用推進委員会や各研修会等を実施し、授業改善を推進した。 ②各学校経営方針にもとづき、実態に応じた授業日数を確保した。 ③地域の人材を活用した外部講師による授業を実施した。 ④学校図書館司書や学校図書館ボランティア等の活用を図った。 ⑤各中学校校区のめざす児童生徒像を設定し、研修等をとおして指導の充実を図った。 ⑥放課後の補習として「ステップアップクラス」や中学校3年生を対象とした受験対策として「スタディ・アシスト」を実施し、学習習慣および基礎学力の定着を図った。	○	指導室
13	情報化や国際化に対応した学校教育の充実	次世代 子・若	①コンピュータを活用した教育の充実や、A E T（教員と協力して英語指導を行なう外国人）の活用を進めます。 ②A E Tを各小・中学校に派遣し、英語指導・国際理解教育の充実を図ります。	①国のG I G Aスクール構想にもとづき、児童・生徒に配付した一人一台の学習用端末を効果的に活用するとともに、電子黒板を整備するなどI C T教育の推進を図った。 ②A E Tを派遣し、教員への研修や児童・生徒への英語指導、国際理解教育の充実を図った。	○	指導室
14	児童・生徒への健全育成教育の充実 (再掲No. 43)	次世代 子・若	①教育相談の充実を図ります。 ②市いじめ防止条例の制定により、いじめの未然防止と対応を図ります。 ③いじめのない学校づくりを進めるとともに、不登校対策の充実を図ります。 ④規則正しい生活習慣と食に関する指導の充実を図ります。 ⑤総合的な学習の時間を活用し、乳幼児など異なる世代との交流を進めます。 ⑥小・中学校一貫教育を通して、継続した生活指導の充実を図ります。	①教育相談所内研修等により心理相談員の資質を高め、相談体制の充実を図った。（学務課） ②青梅市いじめ防止マニュアルを児童・生徒に配布し、いじめの未然防止に向けた啓発を行つた。（指導室） ③学校いじめ防止対策の年間計画を学校ホームページに掲載し、保護者地域の理解を得ながら、アンケートや研修等をとおして未然防止、早期発見、早期解決に努めました。また、毎月、長期欠席児童・生徒調査を実施し、関係諸機関と連携しながら早期対応および継続的な支援に努めた。（指導室） ④生活指導主任会や健康・体力推進委員会等において、各学校の取組について情報交換を行つた。（指導室） ⑤各学校において様々な世代と工夫して交流を図つた。（指導室） ⑥中学校区で共通のテーマを設定して連携した取組を行い、継続的な生活指導の充実に努めた。（指導室）	○	学務課 指導室

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和6年度時 主な担当課名
15	学校の教育施設・設備の充実	次世代 子・若	①校舎や体育館の外壁、屋上および屋根の改修により安全対策に努めます。 ②体育館等の非構造部材耐震化により、防災対策の充実に努めます。 ③照明のLED化により教育環境の整備に努めます。 ④学校のバリアフリー化に努めます。	①外壁落下防止、屋上防水工事について小・中学校5校を実施しました。 ②体育館のガラスの飛散防止やスポーツ器具等の落下防止の対策など、いわゆる非構造部材の耐震化について、8校の工事を実施しました。 ③小・中学校11校のLED照明改修工事を実施した。 ④中学校1校の体育館のトイレ改修工事を実施し、車椅子で使用できるトイレを整備した。 (施設課・教育総務課)	○	施設課 教育総務課
16	地域と連携した開かれた学校づくり	次世代 子・若	①開かれた学校づくりを推進し、保護者・市民の教育への関心を高め、学校ボランティア活動への参加を促進し、地域の教育力を活用した学校教育の充実を図ります。 ②校庭や空き教室の活用など、開かれた学校づくりを進めます。	①教育ボランティアとして、184名の登録があり、図書整備や登下校見守り、環境整備等で活用されました。また、青梅型コミュニティ・スクールを新たに7校で導入するとともに引き続き令和7年度の全校導入に向けて準備を進めました。地域の学校運営参画・学校支援・学校評価を一体的に推進した。(指導室) ②校庭や空き教室等を活用して、放課後子どもも教室を16校で実施した。延べ参加者数は21,489人。(子育て応援課)	○	指導室 子育て応援課
17	地域の教育力の向上	次世代 子・若	①青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、学校ボランティア・教育ボランティア活動の充実を図ります。 ②図書館ボランティアとの協働等によるおはなし会の開催など、読書活動の充実を図ります。 ③地域の人材を発掘し、身につけた知識・技術などを広げていくため、人材登録制度を実施します。	①市内小中学校からの依頼に対し、青梅ボランティア・市民活動センターが小中学校でボランティア体験講座等を6回実施しました。(市民活動推進係) ①中学生によるボランティア活動の体験を支援する「わくわく夏のチャレンジ!~つくろう!あそぼう!たべよう!」を小曾木・成木地区の青少年対策委員会とともに実施した。延べ参加人数は85人。(小曾木・成木C共催) ②「おはなし会」を4月~3月(8、11月を除く)に計10回実施しました。延べ参加人数は137人でした。(長瀬C) ②おはなし会(中央(37回)、梅郷(3回)、新町(2回)、今井(12回)、青梅(12回)、第三小(8回)、第四小(12回)、第五小(12回)、河辺小(12回)、若草小(18回)、新町小(4回)、友田小(6回))を図書館ボランティアと協働で実施した。(社会教育課) ③人材登録制度については、個人登録が30人、団体での登録が1団体あった。(社会教育課)	○	市民活動推進課 社会教育課
18	体験的な学習の充実	次世代 子・若	①森や河川を利用し、多様な自然体験活動の機会を提供します。 ②野鳥講座を継続して実施します。 ③伝統文化体験、工作・手芸体験、異年齢集団による活動体験等、多様な体験機会の充実を図ります。	①8月に「親子森林体験教室」を開催した。参加者人数は保護者を含め10名。(農林水産課) ①おうめ水辺の楽校運営協議会による事業として、5月から10月にかけて、多摩川や霞川において6回の親水事業を実施した。のべ参加人数407名。(環境政策課) ①「わくわく夏のチャレンジ!~つくろう!あそぼう!たべよう!」を小曾木・成木地区の青少年対策委員会とともに実施しました。延べ参加人数は85人でした。(小曾木・成木C共催) ①青梅市青少年対策第八支会地区委員会事務局として「霞川清掃」を企画したが雨天による増水のため中止した。(東青梅C) ①「梅郷ホタルウォッチング」の開催をし自然体験を予定したが大雨で中止した(梅郷C) ①夏休み子供向けイベントとして「親子で学ぶ!夏の夜の昆虫観察会」を実施し、参加者数は16人でした。(文化課) ②新町ウォーク(野鳥講座)を実施した。参加者18人(新町C) ③青少年対策梅郷地区委員会と共催し「梅郷子ふれあい塾」を企画開催した。梅郷地区の型に講師になっていただき紙飛行機を作成した。その後、異年齢の集まる集団でポッチャの体験会を行った。参加人数27人(梅郷C) ③小学生を対象とした「やさしく楽しいマジック体験」(延べ27人参加)を実施しました。(長瀬C) ③青少年第二支会委員会事務局として「ポッチャ体験教室」の開催を支援しました。(長瀬C) ③手作りの楽しさを知ってもらう「クラフトテープのかごづくり教室」を実施しました。参加人数10人。(今井C) ③農業・食育体験教室を実施、延べ参加人数は398人でした。(社会教育課)	○	農林水産課 社会教育課 市民活動推進課 環境政策課 文化課
19	交流、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションなど多様な活動支援	次世代 子・若	「青梅市スポーツ振興基金」による援助・表彰、市民スポーツ大会などの実施、スポーツ施設や運動広場、学校体育施設の開放などを行い、多様な活動を支援します。	青梅市スポーツ振興基金条例にもとづき、援助および表彰を行った。(援助22件、表彰50名)。スポーツ施設や運動広場、学校体育施設の開放などを通じて、市内団体の活動を支援した。(スポーツ推進課)	○	スポーツ推進課
20	ジュニアスポーツ教室の開催	次世代 子・若	体を動かす楽しさを知り、スポーツへの関心を高めるために、各種スポーツの紹介、体験機会の提供を行います。	各教室計4回ずつ実施し、バスケットボール教室210人、バレーボール教室133人、バドミントン教室149人、ピーチボール教室139人、テニス教室118人、卓球教室153人、ソフトテニス教室133人、新体操教室100人が参加し、小学生のスポーツへの関心を高め、体験を通し、スポーツへの興味や親しみを持つてもらうことができた。	○	スポーツ推進課
21	家庭教育講座の充実	次世代 子・若	①その時々の情勢にあった講座を計画し、保護者への学習機会の提供、充実を図ります。 ②子どもの体験機会の充実に向けて、親の体験講座の充実を図ります。	①家庭教育講演会を3回実施した。延べ参加人数は120人。 ②農業・食育体験教室を実施した。延べ参加人数は398人。	○	社会教育課
22	親と子の交流事業の推進	次世代 子・若	①親と子どものための体験事業の充実を図ります。 ②農業委員会の指導のもと、親子農業体験会を実施します。	①農業・食育体験教室を実施した。延べ参加人数は398人。(社会教育課) ②親子農業体験会について、田植え体験を6月15日、稲刈り体験を10月12日に実施し、合計25組60名の参加があった。稲刈りでは、219kgの米を収穫した。(農業委員会)	○	農業委員会 社会教育課
23	青梅市青少年健全育成団体登録事業	子・若	登録された青少年健全育成団体の情報を市民に提供します。また、市民センター一体育館等の各施設使用料の免除制度を適用させることにより、青少年が成長段階に応じて様々な体験活動ができる環境の整備を図ります。	青少年健全育成団体の登録を適正に実施し、計87団体(会員数計2,304名)の登録を行いました。	○	子育て応援課

(3) 子どもの人権の尊重

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
24	児童の人権に関する理解の普及・啓発	次世代 子・若	①ポスター・チラシの配布等の普及・啓発活動を継続します。 ②教員対象の研修会、情報の提供および広報活動の充実を図ります。 ③広報や子育てモバイルなどを活用し、市民に対する情報提供および広報の充実を図ります。	①児童虐待防止等、児童の人権に関する啓発用ポスターの掲示をし、周知しました。（子育て応援課） ②年間5回の人権教育推進委員会を開催し、人権教育のについての充実を図るとともに、各校1名が東京都が指定している近隣地区の人権教育推進校の研究発表に参加し、研究成果を共有しました。（指導室） ③広報や市ホームページ、子育てアプリを利用し、広く情報提供しました。（子育て応援課）	○	子育て応援課 指導室
25	個性を認め合う人権意識の醸成	次世代 子・若	①人権を大切にする心を養う教育の徹底を図ります。 ②児童虐待やいじめ、差別などの問題への取組を通して、人権教育を進めます。 ③人権の花運動を通じ、人権尊重思想の普及・啓発を図ります。	①各学校において、人権教育全体計画および年間指導計画を踏まえ計画的に人権教育を推進した。（指導室） ②都や市が開催する人権教育に関する研修に教職員を参加させるとともに、各学校で年間3回以上のいじめに関する授業や研修を実施した。（指導室） ③人権の花運動を通じて思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうよう啓発を図りました。 実施校：新町小学校、霞台小学校（市民安全課）	○	指導室 市民安全課
26	子どもの視点に立った取組	次世代 子・若	子どもが議会やアンケート調査など、様々な事業において子どもの視点・意見を反映する取組を進めます。	青梅市の将来を担う小・中学生からの意見を今後の市政運営に反映させるため、複数のテーマを設定し、オンライン交流会を小学生、中学生それぞれ開催した。 将来を担う若者たちが、様々なテーマについて、プレゼンテーションし、市長等との意見交換を通じて、市政運営に対し興味・関心をもってもらうとともに、若者の声を市政運営に反映させるため、東京都立青梅総合高等学校および東京都多摩高等学校の生徒と市長等との意見交換会を開催した。（企画政策課） こども計画の策定のため、小学生・高校生を対象としたこどもアンケートを、18歳～39歳までを対象とした若者アンケートを実施した。また、直接のこどもと若者それこれから直接意見を聴取するため、意見聴取会を行った。（子育て応援課）	○	企画政策課 子育て応援課
27	子どもの相談体制の充実	次世代 子・若	①教育相談所の心理相談員による来所相談や電話相談を実施します。 ②子どもの相談窓口を充実し、相談しやすい体制づくりを進めます。	①教育相談所で来所相談を687件、電話相談を34件、メール相談2件実施した。（学務課） ②こども家庭センター職員対象の研修に参加し、相談体制の強化を図った。また、関係機関や子どもに対し子どもの話を聞くことができるることを案内した。（こども家庭センター）	○	学務課 こども家庭センター
28	青少年専門相談の充実	次世代 子・若	青少年のかかえる多様な問題を関係機関へつなげることにより、その問題に関する相談の充実を図ります。	相談内容を確認し、東京都教育相談センター等、関係諸機関へつなぎました。（学務課） 各種相談場所の連絡先を掲載した青少年健全育成チラシを作成し、小中学校の各児童生徒や関係行政機関への配布、および自治会会報等により周知した。（子育て応援課）	○	学務課 子育て応援課
29	スクールカウンセラーの配置	次世代 子・若	全中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談の充実を図ります。	小学校5年生、中学校1年生全員に対する面接を行うとともに、関係機関と連携し、教育相談の充実を図った。	○	指導室
30	スクールソーシャルワーカー活用事業の導入	次世代 子・若	市専属のスクールソーシャルワーカーの配置により教育相談体制の充実を図ります。	3人のスクールソーシャルワーカーが家庭訪問などを通して、登校支援を行った。	○	指導室
31	いじめ、不登校、児童虐待などへの取組	次世代 子・若	①教員研修や教育相談活動の充実を図るとともに、教育相談所と連携し、学校への心理相談員の派遣やスクールカウンセラーの配置を充実し、いじめや不登校などの問題に取り組みます。 ②保護児童対策地域協議会を中心として、各関係機関が連携した取組を進めます。 ③小・中学校一貫教育を通して、小学校から中学校へ進学する際に、1人ひとりの個性を活かした対応を図ることで安心の向上に努めます。	①学校からの要請によりケース会議等に心理相談員を10回派遣した。（学務課） ①全小・中学校へのスクールカウンセラーの配置を継続し、校内委員会等で助言してもらうなどした。（指導室） ②保護児童対策地域協議会代表者会議を1回、実務者会議を4回、個別ケース検討会議を67回実施した。また、必要に応じ関係機関と迅速な連携を行った。（こども家庭センター） ③小・中学校一貫教育を推進していく中で、小学校から中学校への引き継ぎが円滑に行えるようにした。（指導室）	○	学務課 指導室 こども家庭センター
32	教育支援センター（旧適応指導教室）の設置（ふれあい学級）（再掲No. 127）	次世代 子・若 貧困対策	①不登校の状態にある児童に対して、学校復帰を目指した指導や、ふれあい学級への入級を推進します。 ②ふれあい学級に通学している児童・生徒に対して、在籍校への復帰支援を行います。	①学校・登校支援室・教育支援センター等が連携し、不登校状態にある児童・生徒に対して、望ましい環境が提供できるよう支援を行った。 ②教育支援センターの経験豊富な指導員による指導を通じて、在籍校への復帰支援を行った。	○	指導室
33	教育相談研修の充実	次世代 子・若	教育相談所と連携し、教員研修の充実を図ります。	青梅市学校教育相談推進協議会を学校教育相談研修と合わせて年間1回実施し、教育相談研修の充実を図った。	○	指導室

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名
34	児童の健全育成	次世代 子・若	①青少年対策各地区委員会の事業を支援していきます。 ②関係各課、機関等との連携を図り、性的逸脱行為や少年非行等の防止の支援を行います。	①青少年対策事業補助金を市内11地区の青少年対策地区委員会に対し交付し、各地区委員会が実施する事業を支援した。（子育て応援課） ①青少年対策各地区委員会が行う事業を事務局として支援した。（各市民センター） ①「ジャガイモ掘り体験」、「ポッチャ体験会」、「天体観測会」を支援した。（河辺C） ①「じゃがいも掘り体験」、「さつまいも掘り体験」、「ポッチャ体験会」を支援した（新町C） ①「青梅つ子わいわいフェスタ等」の事業を支援した。（青梅C） ①「カーネーション作り」「梅郷子ふれあい塾・紙飛行機作成・ポッチャ体験会」「クリスマスリース作り」を支援した。（梅郷C） ②青少年の健全育成の推進を目的とした講演会を関係機関等と連携を図り開催した。（梅郷C） ②地域の「防犯パトロール」等を小中PTAや安全を守る会と連携し、事務局として支援した。（梅郷C・小曾木C） ①②「霞川清掃」、「ポッチャ体験会」を支援した。また、青少年健全育成チラシの作成・配布に対する支援をした。（東青梅C） ①②社会を明るくする運動と連携し青少年防犯映画の上映と講演会を開催。『動物ふれあい祭り』や『ポッチャ体験会』を実施した。（今井C） ②青少年問題協議会および補導連絡会をそれぞれ2回開催し、関係機関等の情報交換を行った。（子育て応援課）	○	子育て応援課 市民活動推進課
35	青少年問題協議会等の開催	子・若	問題青少年の保護および指導ならびに矯正に話し協議、また、委員相互が情報交換することにより、青少年健全育成の推進を図ります。	青少年問題協議会および補導連絡会をそれぞれ2回開催し、関係機関等の情報交換を行った。 青梅市青少年健全育成方針の改定を行った（令和7～9年度）。 夏・冬・春の各休み前のしおりや青少年健全育成チラシを作成し、配布した。 青少年健全育成環境整備対策として、市内レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア、パチンコ店などに青少年の非行防止と健全育成について協力を依頼した。	○	子育て応援課
36	子ども・若者育成支援強調月間等における周知啓発事業	子・若	子ども・若者育成支援強調月、青少年の非行・被害防止全国強調月間ににおいて、周知・啓発を行い市民が理解を深め、さらに関係機関・団体と地域住民等とが相互に協力・連携して、青少年の規範意識の醸成および有害環境への適切な対応を図る取組を集中的に実施することにより、次代を担う青少年の健全な育成を図ります。	非行・被害防止全国強化月間（7月）と秋のことどもまんなか月間（11月）では、広報等で市民へ周知するとともに、横断幕の掲出（市内3か所）を行った。 また、青少年健全育成環境整備への対策として、市内レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア、パチンコ店などに青少年の非行防止と健全育成について協力を依頼した。	○	子育て応援課

(4) 子どもの地域での活動を応援するまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
37	地域や社会に関する学習機会の充実	次世代子・若	①学校教育や社会教育を通して、子どもや女性、市民の権利や、市民の義務などについての学習を充実します。 ②地域での体験学習機会を増やし、学校・家庭・地域が一体となった教育、地域の将来を担う人材の育成を行います。 ③子ども会活動の支援を行います。	①家庭教育講演会「多様性とジェンダー平等を基盤にした包括的教育～“子どもの権利” “からだの権利”を実現する乳幼児期からの学び～」実施。講師:北山ひと美氏、参加者27名（社会教育課） ②「柔道寒稽古（参加者38人）」「剣道寒稽古（参加者21人）」の開催を支援した。（梅郷C） ③青少年対策青梅地区委員会を事務局として、青少年の健全育成の推進を目的とした「カーネーション作り」「梅郷子ふれあい塾・紙飛行機作成・ボッチャ体験会」「クリスマスリース作り」を支援した。（梅郷C） ④「ホタルふやしたい実行委員会」を立ち上げ、小曾木地区の青少年による初夏のホタルとの保護の啓発活動を行った。延べ参加人数は53人。（小曾木C） ⑤小学生を対象とした「やさしく楽しいマジック体験」を実施した。延べ参加人数は27人。（長瀬C） ⑥「わくわく夏のチャレンジ！～つくろう！あそぼう！たべよう！」を小曾木・成木地区の青少年対策委員会とともに実施した。延べ参加人数は85人。（小曾木・成木C共催） ⑦第八支会自治会長および有志による「子どもたちに地域の歴史と文化を伝える会」（小中学校への出張授業・資料提供）の開催を支援した。（四小・河辺小・霞台小・吹上小・一中・霞台中・吹上中・泉中）（東青梅C） ⑧ジュニアリーダー講習会「そなエアリア2024」を実施した。（5月・19人）（東青梅C） ⑨小学5年生を対象に、市内御岳エリアを中心に、地域の自然や伝統・文化等について学習する「青梅学」を実施した。また、地域の人材をゲストティーチャーとして迎えて行う体験的な学習も実施した。（指導室） ⑩青少年に対する地域での活動を支援するため、青少年健全育成備品の貸出しを行った。（社会教育課）	○	指導室 社会教育課 市民活動推進課
38	地域コミュニティ活動への子どもの参画促進	次世代子・若	①清掃やリサイクルなどの地域維持活動やイベント、福祉ボランティア活動などへの子どもの参画機会の充実を図ります。 ②子どもへの広報を拡充し、子どもの自主的な参画を促進します。	「子どもふれあいフェスタ2024」を青梅市福祉センターで開催した。（参加者延べ1,800人） 運営にあたっては、こども達が参画した。 開催費用について、同実行委員会に補助金を交付した。	○	子育て応援課
39	子どもの祭り・イベントづくり	次世代子・若	①祭りやイベントに、子どもが参加できる機会の充実を図ります。 ②青梅市全体で子どもと大人が仲良くふれあえるような楽しいイベントを検討します。	①②「長瀬地区文化祭」で子供たちの演技披露や消火器体験などを行い、地域交流・世代間交流を図った。（11月、1,401人参加）（長瀬C） ③ホタルウォッキングを企画したが大雨で中止となった。（梅郷C） ④⑤市民運動会（10/13参加者のべ800人）、梅郷地区文化祭（11/10参加者のべ1,000人）を開催し、イベントに子供が参加して大人とふれあえるようにした。（梅郷C） ⑥青梅市全体で行った親子ふれあい事業ボッチャ大会に参加チームをだし、青少年対策委員会で事業運営に協力した。（梅郷C） ⑦第八支会ハイキングを実施した。（11月、参加者58名）（東青梅C） ⑧小曾木スロレクフェスタ（10月、約400人参加）を開催した。また、小曾木っ子まつりとの合同開催で小曾木地区文化祭（11月、約453人参加）を開催した。（小曾木C） ⑨第九支会納涼盆踊り大会を開催（約1,200人参加）した。（新町C） ⑩⑪第11支会事務局として夏祭り（7月、約500人参加）支援し、第11支会体育振興事業事務局として、スポーツイベント（10月、224人参加）を支援した。（今井C） ⑪三田地区スポーツの日（9月）に、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加できるファミリーゴルフ大会を開催し交流を深める予定だったが、令和6年度は雨天中止となつた。総合文化祭（11月）において、保育園児、小中学生の作品出品の機会を設けた。（沢井C） ⑫青梅市全体で行った親子ふれあい事業ボッチャ大会に、青少年対策委員会で事業運営に協力した。（大門C） ⑬生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2024～を開催し、2日間で合唱、楽器演奏、ダンス等43イベントを実施した。出演者・来場者は合計3,307人。（社会教育課） ⑭子育て支援および子どもたちの健全育成を図るために、「子どもふれあいフェスタ2024実行委員」に補助金を交付し、青梅市福祉センターにて実施した。参加者は延べ1,800人。（子育て応援課） ⑮「ゆめなりき」（成木地区の夏祭り）および成木地区文化祭（第7支会主催）に協力した。（成木C）	○	社会教育課 市民活動推進課 子育て応援課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名												
40	子どもの居場所づくり 『再掲No.90』	次世代 子・若	子育て支援事業で、放課後・週末などの児童の居場所づくりを目指し、拡充を進めます。	項目名：各市民センターにおける子育て支援事業（センターひろば）利用人数 単位：人 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> <tr> <td>3,815</td> <td>441</td> <td>1,626</td> <td>2,353</td> <td>2,679</td> <td>2,878</td> </tr> </table> ※ 年度末現在 居場所として、市民センター等9か所における子育て支援事業（センターひろば）や、子育て支援センター等18か所で子育てひろば事業を実施した。（子育て応援課） 子育て支援事業の実施に際し、会場の提供、物品の保管場所の提供をした。（市民活動推進課）	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	3,815	441	1,626	2,353	2,679	2,878	○	市民活動推進課 子育て応援課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
3,815	441	1,626	2,353	2,679	2,878													
41	中高生の居場所づくり	次世代 子・若	①総合体育館の個人開放事業を継続します。 ②中高生の居場所づくりに取り組みます。	①個人開放事業を継続して実施した。（スポーツ推進課） ②子育て支援センターは18歳まで利用可能であり、中高生の居場所とした。（子育て応援課）	○	スポーツ推進課 子育て応援課												
42	職業意識や能力の向上の支援	次世代 子・若	①中高生の職業体験機会の充実などにより、自分で自分の進路を選択する力を身につけるキャリア教育の充実を図ります。 ②関係機関や団体と連携し、高校生や若者の職業能力向上の機会の充実を図ります。	①中学校2年生を中心には、各校で職場体験学習を実施した。また、中学校1・2年生では、授業において職業調べ、発表、職業講話等のキャリア教育を実施した。（指導室） ②商工会議所やハローワークと共に合同就職面接会を実施した。（商工業振興課）	○	商工業振興課 指導室												

(5) 子どもの健全な成長への支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名																								
43	児童・生徒への健全 育成教育の充実 （再掲No.14）	次世代 子・若	①教育相談の充実を図ります。 ②市いじめ防止条例の制定により、いじめの未然防止と対応を図ります。 ③いじめのない学校づくりを進めるとともに、不登校対策の充実を図ります。 ④規則正しい生活習慣と食に関する指導の充実を図ります。 ⑤総合的な学習の時間を活用し、乳幼児など異なる世代との交流を進めます。 ⑥小・中学校一貫教育を通して、継続した生活指導の充実を図ります。	①教育相談所内研修等により心理相談員の資質を高め、相談体制の充実を図った。（学務課） ②青梅市いじめ防止マニュアルを児童・生徒に配布し、いじめの未然防止に向けて啓発を行った。（指導室） ③学校いじめ防止対策の年間計画を学校ホームページに掲載し、保護者地域の理解を得ながら、アンケートや研修等をとおして未然防止、早期発見、早期解決に努めた。また、毎月、長期欠席児童・生徒調査を実施し、関係諸機関と連携しながら早期対応および継続的な支援に努めた。（指導室） ④生活指導主任会や健康・体力推進委員会等において、各学校の取組について情報交換を行った。（指導室） ⑤各学校において様々な世代と工夫して交流を図った。（指導室） ⑥中学校区で共通のテーマを設定して連携した取組を行い、継続的な生活指導の充実に努めた。（指導室）	○	指導室 学務課																								
44	若者の自立等支援事 業→ひきこもり等支 援事業	子・若	社会生活を円滑に営む上での困難を有するひきこもり等の状態にある若者等に対して、個別に働きかけ、具体的な支援を実施し自立につなげます。	項目名：講演会参加者数（※年度末現在） 単位：人 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> <tr> <td>29</td> <td>—</td> <td>23</td> <td>34</td> <td>14</td> <td>11</td> </tr> </table> ※令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講演会および個別相談会を中止とした。 項目名：個別相談会延べ相談件数（※年度末 現在） 単位：人 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> <tr> <td>37</td> <td>—</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>9</td> </tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	29	—	23	34	14	11	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	37	—	13	11	13	9	○	地域福祉課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																									
29	—	23	34	14	11																									
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																									
37	—	13	11	13	9																									

2 子育ての喜びを感じられるまちづくり

(1) 男女がともに子育ての喜びを感じられるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
45	子育てにやさしい企業・地域の実現	次世代	①関係機関と連携し、市民、事業主などの意識改革のための広報・啓発、情報提供を行います。 ②育児・介護休業制度などの普及・啓発、短時間勤務・フレックスタイム制などの普及を促進します。 ③企業や店舗と協力し子育てにやさしい店や企業づくりへの支援を検討します。	①青梅商工会議所と共催で、企業を対象としたセミナーや、男女共同参画週間のパネル展示などの啓発を行った。（市民安全課） ②実施なし（商工業振興課） ③子ども食堂推進事業として、9団体に補助金の交付をいたしました。（子育て応援課）	△	市民安全課 商工業振興課 子育て応援課
46	女性の就労の支援	次世代	①女性の再雇用や労働、起業を支援する講座や講演会の充実を図ります。 ②働く女性の職業能力開発および就業意欲の向上のため、パソコン教室など学習機会の充実を図ります。	①しごとセンター多摩と共に女性しごと応援キャラバンを実施した。（市民安全課） ②実施無し（商工業振興課）	△	商工業振興課 市民安全課
47	家事・育児・家庭教育・地域教育への男性の参画	次世代	男女共同による家事・育児への参加促進に向けて、講演会・セミナーなどにより、市民・企業への啓発を行います。	青梅商工会議所と共催で実施している地域女性活躍推進セミナー内で、ワーク・ライフ・バランスの大切さについても触れた。（市民安全課）	○	市民安全課
48	仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現	次世代	ワーク・ライフ・バランス実現のため、企業・市民との協働により、仕事と家庭の両立を支援する様々な取組を行うとともに、制度の周知、啓もうを図ります。	青梅商工会議所と共催で実施している地域女性活躍推進セミナー内で、ワーク・ライフ・バランスの大切さについても触れた。 また男女共同参画週間に、啓発のパネル展示を行った。（市民安全課） 各関係機関からの案内チラシ等を窓口に配架した。（商工業振興課）	○	市民安全課 商工業振興課 子育て応援課
49	次代の親の育成 『再掲No. 80』	次世代 子・若	①男女がともに子育てや教育に参加し、家族のパートナーシップの強化を促すよう、講座や情報紙などによる啓発を行います。 ②子どもが男女とも家事を手伝うよう、子ども料理教室や家事分担カレンダーの作成・配布、通学合宿の実施などを進めます。	①男女共同参画週間の啓発パネル展示を行った。（市民安全課） ②農業体験教室を開催し、農業体験や料理を学んだ。延べ参加人数は398人でした。（社会教育課）	○	市民安全課 社会教育課
50	ジェンダー平等セミナーの開催	次世代	青梅市男女平等推進計画にもとづき、セミナーを開催します。	中学3年生を対象とした「デートDV講座」、青梅市職員を対象とした「ワーク・ライフ・バランス研修」、社会教育課と共にジェンダー平等に関する講演会を実施した。	○	市民安全課
51	青梅市ジェンダー平等推進計画の推進	次世代	青梅市男女平等推進計画にもとづき、各課の実施事業の推進を図るとともに、進ちょく状況報告書を作成し、各事業の内容を確認します。	青梅市ジェンダー平等推進計画の推進にあたり、各課の実施事業の進ちょく状況をまとめ、実施事業に対する青梅市ジェンダー平等推進計画懇談会からの評価結果を取りまとめた。	○	市民安全課

(2) 地域・世代間交流を進めるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
52	地域・世代間交流事業の推進	次世代 子・若	①子育て支援施設や学校・保育所など様々な場で、子育て中の父母やNPO法人などの協力を得て、小中高生と乳幼児との交流に取り組みます。 ②昔からの遊びや知恵を伝承する取組など高齢者との世代間交流の実施を進めます。 ③自治会や子ども会など地域との協働事業に取り組みます。 ④運動会、盆踊り、文化祭などの事業をもとに、自治会や子ども会など地域との交流の推進に努めます。 ⑤PTAやNPO法人など地域団体との共催講座の実施を進めます。	①子育て支援および子どもたちの健全育成を図るため、「子どもふれあいフェスタ2024実行委員会」に補助金を交付し、青梅市福祉センターにて実施した。（参加者延べ1,800人）（子育て応援課） ①②「長瀬地区文化祭」で子供たちの演技披露や消火器体験などを行い、地域交流・世代間交流を図った。（11月、1,401人参加）（長瀬C） ④青少年対策第10支会地区委員会の実施する農業・食育（ジャガイモ掘り）体験事業を支援した。（河辺C） ④青少年対策新町地区委員会の実施する農業・食育（じゃがいも掘り、さつまいも掘り）体験事業を支援した。（新町C） ④大門市民センター文化展を実施した（11月、435人参加）。（大門C） ④市民運動会（10/13参加者のべ800人）、梅郷地区文化祭（11/10参加者のべ1,000人）で地域との交流の推進を行った。（梅郷C） ⑤青少年対策梅郷地区委員会と三田地区委員会共同で講演会を行った。（梅郷C・沢井C） ⑤NPO法人を講師として、市内の中学校4校に対してデートDV講座を開催した。（市民安全課） ④第八支会体育振興会事務局として市民運動会（10月、約500人参加）スポーツイベント（6月約100人、9月雨天中止、11月約250人、2月約100人参加）を支援した。（東青梅C） ④第11支会事務局として夏祭り（7月、約500人参加）支援し、第11支会体育振興事業事務局として、スポーツイベント（10月、224人参加）を支援した。（今井C） ④三田地区スポーツの日（9月）に、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加できるファミリーゴルフ大会を開催し交流を深める予定だったが、令和6年度は雨天中止となつた。総合文化祭（11月）を開催し地域交流に努めた。（沢井C） ④成木地区文化祭を活動団体や第七支会等と協働して実施した。（成木C）	○	子育て応援課 市民活動推進課 市民安全課
53	青少年健全育成・青少年対策事業	子・若	青少年対策各地区委員会が実施する各種事業について補助金を交付することにより、当該事業の適正な運営を推進し、さらに青少年が地域活動に参加する機会や場を提供することともに、親子のふれあい、異年齢交流や地域交流を通じて、地域社会全体で青少年の健全育成を図ります。	青少年対策事業補助金を市内11地区の青少年対策地区委員会に対し交付し、各地区委員会が実施する事業を支援した。 青少年対策地区委員会の合同事業として、「青梅市親子ふれあい事業（ボッチャ大会）」を開催した。	○	子育て応援課

(3) 地域の子育ての場とネットワークづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
54	地域活動の活性化と 地域、学校、行政が 協働した取組の推進	次世代 子・若	①自治会、子ども会などの地域活動を 支援とともに、地域での活動の情 報収集とその発信に努めます。 ②地域、学校、行政が一体となったイ ベントなどの取組を進めます。 ③子育てセンター講習、地域ボラン ティア講習などを実施し、市民ボラン ティアの育成を図るとともに、ボラン ティア市民活動などと連携した活用を 進めます。	①各支会事業、自治会などの活動を通じ情報収集に努めるとともに、センターだよりを年12回発行し、センター事業や支会行事の情報提供を行った。また、小中学校の学校だよりの配布を行った。（各市民センター） ②市民センター文化祭と第八支会ささえあいフェスティバルを同時開催し、これに学校等の協力をいただき、地区内の小中学生や保育園児の作品展示を行いました。（東青梅C） ②梅郷地区文化祭を開催し地域の自治会、学校とともにセンターが一体となって作品展示を行い、地域との交流の推進を行った。（梅郷C） ②小曾木地区文化祭は、七小の作品展示や六中茶道部の野点も行い、また小曾木っ子まつりとの合同開催となった。（11月、約453人参加）（小曾木C） ②三田地区総合文化祭を地域団体と共催（11月）し地域の活性化を図った。（沢井C） ②少年少女マラソン大会（管内小中学校、同PTA、青少年対策成木地区委員会共催）に協力した。（成木C） ③青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、ボランティア活動に興味がある方を対象とした講座（19人参加）を実施した。（市民活動推進係） ③社会福祉協議会で運営する青梅ボランティア・市民活動センターオーにおいて随時ボランティアの相談を受け付けており、ボランティア情報希望、ボランティア希望の相談を281件受け付けた。（市民活動推進係） ③ファミリー・サポート・センター事業の提供会員養成講座を実施した（2期・14人）。（子育て応援課）	○	子育て応援課 市民活動推進課
55	地域住民の主体的活 動の支援	次世代 子・若	①地域での子育て支援活動の促進に向 けて、市民センター、自治会館、商店街の空き店舗、高齢者福祉施設などを 活用し、乳幼児から高齢者まで気軽に 交流できるサロン（広場）の設置など 地域支援を進めます。 ②子育てサークル等のネットワークの 育成を図ります。	①「長淵地区文化祭」で子供たちの演技披露や消火器体験など を行い、地域交流・世代間交流を図った。（11月、1,401人参加）（長淵C） ①市民センターで文化祭を開催し、多世代が交流できる場の提 供を実施した。（各市民センター）※今井Cは中止 ①小曾木地区文化祭は、七小・六中の作品展示や六中茶道部の 野点も行い、また小曾木っ子まつりとの合同開催となった。 （11月、合文化祭参加）（小曾木C） ①梅郷地区文化祭を開催し地域の自治会、学校とともにセン ターが一体となって作品展示を行い、地域との交流の推進を行 った。（梅郷C） ①高齢者の方が気軽に立ち寄れる地域の集いの場として、地域 サロンを市内の自治会館（7か所）で開設した。（高齢者支援 課） ②B Pプログラムで講座を通じて子育てなかまづくりを支援し 	○	商工業振興課 子育て応援課 高齢者支援課 市民活動推進課
56	青少年リーダーの育 成	次世代 子・若	小学生から高校生までの異年齢集団に よる様々な体験活動を通じ、子ども 会・地域活動における青少年リーダー の育成を図ります。	青少年リーダー育成研修会を実施した。（延べ参加者201人）	○	社会教育課
57	地域のボランティア の育成	次世代 子・若	①各施設を中心に、地域教育を協働で きる体制づくりを検討します。 ②青梅ボランティア・市民活動セン ターと連携し、地域のボランティアの 育成に努めます。	①青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、ボランティア活動に興味がある方を対象とした講座（19人参加）を実施した。（市民活動推進係） ①第八支会が実施する「ささえあいフェスティバル」に多くの ボランティア団体の参加を呼び掛けた。（東青梅C） ②社会福祉協議会で運営する青梅ボランティア・市民活動セン ターにおいて随時ボランティアの相談を受け付けており、ボ ランティア情報希望、ボランティア希望の相談を281件受け付けた。（市民活動推進係）	○	市民活動推進課
58	子育てボランティア の育成	次世代 子・若	子育て支援センターなどの親子ふれあ い事業やNPO法人の活動支援などを 通じて、市民相互の子育て支援グル ープの育成を図ります。	青梅ボランティア・市民活動センターを支援することで、子育 てに関するボランティアの支援につなげた。（市民活動推進 係） 「子どもふれあいフェスタ2024」を青梅市福祉センターで開催 した。（参加者延べ1,800人） 開催費用について、同実行委員会に補助金を交付した。（子育 て応援課）	○	子育て応援課 市民活動推進課

3 全ての子育て家庭を支援する地域づくり

(1) 子育て相談・情報提供体制の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
59	保育所相談体制の充実	次世代 子・若	地域ごとの相談体制の確立を目指し、相談体制の周知、職員の適正な配置と職員研修の充実による認識の向上に努め、内容の充実を図ります。	畠中保育園を中心に、13保育所で子育てひろば事業を実施するとともに、子育てひろば連絡会を3回開催し、相談体制の充実を図った。	○	子育て応援課
60	相談サービスネットワークの整備	次世代 子・若	こども家庭センターを拠点とし、子育て支援センター、子育てひろばなどのネットワークを通じて子育て相談体制の充実を図ります。	こども家庭センターや子育てひろばで相談を実施しました。また、子育てひろば連絡会によるアンケートを実施し、情報交換等を行いました。	○	子育て応援課 こども家庭センター
61	指導・相談体制の充実	次世代 子・若	①育児不安への対応などを中心に、個別相談の実施を充実します。 ②いじめや不登校の相談など教育相談の充実を図ります。	①児童相談所や家庭からの相談を受けた（相談件数1,130件）。（こども家庭センター） ②子ども発達相談では、臨床心理士が個別相談を実施し母親の不安解消に努めた。（こども家庭センター） ③青梅市いじめの防止に関する条例にもとづき、いじめに関する会議を開催し、いじめ防止対策等について協議した。また、教育相談所や登校支援室、教育支援センター等が連携し、登校支援や不登校児童・生徒の受け入れを行うなど、早期対応に努めた。（指導室）	○	こども家庭センター 指導室
62	子育て支援講座の充実	次世代 子・若	子育てを支援する講座の充実に努めます。	0歳児を初めて育てている母親を対象にした育児講座を、延べ12回実施しました。また、未就学児と保護者を対象とした子育て支援に関する講座「親子スキンシップ教室」を8か所8回ずつ実施し、日曜日の家族参加型イベントとして「あつまれ！親子スキンシップ教室」を全3回実施しました。	○	子育て応援課
63	親子サロン・赤ちゃんサロンの充実	次世代	子どもを遊ばせながら、親同士の交流や子育て相談の充実を図ります。	コロナ禍では中止していたが、旧担当部署の業務増によりサロン再開の目途がつかず未開催となった。 代替事業として、子育て支援センターにおいて、指定管理者が派遣する保健師による相談日を月2日程度設けた。	△	子育て応援課
64	子育てひろば事業などの活用	次世代 子・若	絵本の読み聞かせなどを通じ、絵本と出会う機会づくりと親子の交流を進めます。	乳幼児の3・4か月健診時において、赤ちゃん向け絵本の紹介および図書館利用のPRを行った（18回）。（社会教育課） 子育て支援センター等において絵本の読み聞かせを実施した。（子育て応援課） 「ここにちは赤ちゃん事業」として行う生後4ヶ月までの乳児家庭への民生委員の全戸訪問の際に、ブックスタート事業として絵本の配付を実施した。（こども家庭センター）	○	子育て応援課 こども家庭センター 社会教育課
65	こんにちは赤ちゃん事業の充実	次世代 子・若	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握をすることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境を整備します。	生後4か月までの乳児に対し、民生・児童委員等による全戸訪問を行った。（訪問対象数 515件、訪問数 504件、転出等11件）	○	こども家庭センター

(2) 子育て支援サービスの充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
66	幼稚園、小学校の連携の推進	次世代	幼稚園と小学校との連携に向けて、各幼稚園への情報提供を行います。	各幼稚園へ情報提供を行った。	○	こども育成課
67	子育て世帯への支援	次世代	おむつの無料回収を行い、子育て世帯を支援します。	多くの方に無料回収を利用していただけるよう、ごみ収集カレンダーや広報おうめ等で周知を図った。	○	清掃リサイクル課

(3) 地域における切れ目のない妊娠・出産体制の強化

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名																																				
68	子育てにやさしいまちづくり（赤ちゃんふらっと事業）の推進		外出時のおむつ替えや授乳場所の確保など、子育てにやさしいまちづくりを進めます。	項目名：赤ちゃんふらっと事業実施施設件数 単位：施設数 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 整備の促進を図っていきます。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	6	6	6	6	6	6	○	子育て応援課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
6	6	6	6	6	6																																					
69	子育て教室の開催（母親学級、離乳食・幼児食教室）		妊娠・出産・育児について学ぶ講座の充実を図ります。離乳食・むし歯予防等についての講座等を開催します。	項目名：母親（両親）学級参加者数 単位：人（延） <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>336</td><td>224</td><td>290</td><td>291</td><td>268</td><td>291</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 安心して出産・子育ての準備ができるように、抱っこの仕方やお風呂入れの仕方等の実習を実施しながら、親同士の交流を図った。</p> <p>項目名：離乳食教室参加者数 単位：人 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>341</td><td>157</td><td>114</td><td>121</td><td>129</td><td>136</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 一般的の離乳食教室では、講義のみならずデモンストレーションを交えて実施した。月齢に合わせた食材の形態を示し、保護者限定で試食も取入れた。 一方、祖父母に対する離乳食教室は、引き続き講義のみの実施とした。</p> <p>項目名：幼児食教室参加者数 単位：人 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>38</td><td>5</td><td>4</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 新型コロナウイルス感染症5類への移行を受け、調理実習を取り入れ実施した。 お子さんのお世話をしながら調理することを考え、手軽に作れるメニューを心がけた。</p></p></p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	336	224	290	291	268	291	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	341	157	114	121	129	136	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	38	5	4	2	5	5	○	こども家庭センター
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
336	224	290	291	268	291																																					
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
341	157	114	121	129	136																																					
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
38	5	4	2	5	5																																					
70	乳幼児医療費助成の実施		義務教育就学前の乳幼児の医療費の自己負担の一部を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>154</td><td>116</td><td>143</td><td>140</td><td>160</td><td>151</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 0歳から小学校入学前までの乳幼児に対し、医療費の自己負担分の助成を適正に行った。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	154	116	143	140	160	151	○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
154	116	143	140	160	151																																					

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等						担当課 評 価	令和6年度時 主な担当課名					
71	子どもや母親、妊婦の健康の確保		①母親学級（母性科・育児科）・両親学級の開催、電話相談等により育児に対する不安の解消を図り、良いお産の促進を図ります。 ②母子手帳、啓発紙・冊子の発行・配布により、子どもの事故の防止を図ります。 ③相談事業やグループワークにより、母親のストレス防止や児童虐待の発生を予防します。	項目名：母親（両親）学級参加者数 単位：人（延）						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										336	224	290	291	268	291	
				※ 年度末現在 母親学級を通じて、講師である保健師、歯科衛生士や管理栄養士の信頼関係を築くことによって相談しやすい環境をつくりつつある。												
				項目名：母子手帳発行数 単位：冊						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										692	629	565	515	565	531	
				※ 年度末現在 母子健康手帳を渡す際に、保健師と面談を行い、妊娠期間から出産にかけて注意すべきことや各種サービスの紹介をしている。												
				項目名：ステップクラス I（乳児）の参加組数 単位：組（延）						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										73	98	81	77	84	81	
				※ 年度末現在 乳児ステップクラスは、育児に不安をもつ母親を支援し、幼児ステップクラスは、集団生活が苦手な幼児の体験の場としてテーマを変えながら参加しやすいように努めた。												
				項目名：ステップクラス II（幼児）の参加組数 単位：組（延）						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										100	84	72	140	82	104	
				※ 年度末現在 乳児ステップクラスは、育児に不安をもつ母親を支援し、幼児ステップクラスは、集団生活が苦手な幼児の体験の場としてテーマを変えながら参加しやすいように努めた。												
				項目名：10代での妊娠届出数 単位：人						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										7	3	5	1	9	8	
				※ 年度末現在 行政サービス等の情報提供を実施し、信頼関係を構築しながら必要な支援に努めた。												
72	妊産婦健康診査の実施と産婦対策の推進		妊産婦を対象に、健康診査を実施します。	項目名：妊婦健康診査実施人数 単位：人（延）						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										8,996	8,059	7,777	6,723	8,298	8,362	
				※ 年度末現在 都内の各医療機関に妊婦健康診査14回、超音波検査4回、子宮頸がん検査1回を委託し、妊婦の健康管理に努めた。												
73	妊婦歯科健康診査の実施		妊婦を対象に、歯科健康診査を実施します。	項目名：妊婦歯科健康診査実施人数 単位：人						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										73	39	56	37	46	100	
				※ 年度末現在 妊婦の歯科疾患の早期発見・早期治療を図るとともに、歯磨き指導も実施した。令和6年9月より、市内の協力歯科医院に委託し、個別実施を導入した。												
74	乳幼児健康相談の実施、母と子の保健指導（健康指導）の実施		乳幼児の発育・離乳食・むし歯予防などについて、保健師・管理栄養士・歯科衛生士・心理相談員による健康相談を実施します。	項目名：乳幼児健康相談の相談人数 単位：人						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										166	64	147	172	196	201	
				※ 年度末現在 各専門職が、発育状況を確認しながら育児指導、助言を行い母親の不安解消に努めた。												
75	妊婦食教室・離乳食教室・幼児食教室の実施		妊婦食・離乳食・幼児食の栄養についての講義と調理実習または試食を行います。	項目名：妊婦食教室参加人数 単位：人						R元 年度		R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度
										5	3	2	7	7	2	
				※ 年度末現在 妊婦の体調を考慮し、調理実習・試食は原則行わず講義のみとともに、指導に特化せず、対話形式で質問に答えるよう努めた。												

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等						担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名	
76	乳幼児健康診査の実施		①3か月児、6か月児、9か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、健康診査を実施します。 ②未受診児に対し、フォローを行います。	項目名：3～4か月児健康診査受診者数 単位：人	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度		
					691	553	606	553	545	529		
				※ 年度末現在								
				項目名：6～7か月児健康診査受診者数 単位：人	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度		
					626	636	557	542	484	485		
				※ 年度末現在								
				項目名：9～10か月児健康診査受診者数 単位：人	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度		
					618	612	553	533	487	483		
				※ 年度末現在								
				項目名：1歳6か月児健康診査受診者数 単位：人	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度		
					669	755	667	638	559	574		
				※ 年度末現在								
				項目名：3歳児健康診査受診者数 単位：人	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度		
					770	809	689	728	658	652		
				※ 年度末現在 各種健康診査を実施することによって、乳幼児の健康状態を把握し必要な乳幼児には経過観察健康診査等を紹介した。								
				項目名：乳幼児健康診査未受診者数 単位：人	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度		
					78	128	50	135	50	33		
				※ 年度末現在 未受診者について、市外転出等を確認しながら、電話や訪問等により現認や健康状態の把握に努めた。なお、市内居住者については、全数把握した。								
77	幼児体操教室の開催		3歳から未就学児を対象に、ボールやフープなどの手具を使った運動やゲームを行います。	項目名：延べ参加人数 単位：組	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度		
					266	0	35	192	203	85		
				指定管理者自主事業として幼児体操教室を実施した。コロナ禍以降、徐々に参加者が増えていたが、令和6年度は体操教室の指導者が一時不在となり、令和6年10月の開始となつたため、前年度より減少した。								

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等						担当課評価	令和6年度時 主な担当課名		
78	幼児歯科相談の実施		2歳児と2歳6か月児を対象に、歯科健康教育・歯科健康診査・予防処置を実施します。	項目名：歯科健康教育実施人数						○ こども家庭センター			
				単位：人									
				R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度				
79	幼児歯科健康診査の実施		1歳6か月児、3歳児を対象に、歯科健康診査を実施します。	700	715	657	614	641	587	○ こども家庭センター			
				※ 年度末現在									
				定期的に歯科健康教育をすることで、幼児の口腔の健全な発育発達を促した。また、保護者の歯科保健に関する不安や悩みに答えた。									
80	次代の親の育成《再掲No. 49》	次世代 子・若	市内の中学・高校等と連携し乳幼児とのふれあいの機会づくりを充実させます。	項目名：歯科健康診査実施人数						○ こども家庭センター			
				単位：人									
				R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度				
81	研修および人材確保等に対する支援の実施	子・若	教諭・保育士等の質を向上させるための研修や人材確保等に対する支援に努めます。	668	753	666	637	559	574	○ こども家庭センター			
				※ 年度末現在									
				1歳6か月児歯科健康診査実施人									
82	地域居場所づくり	子・若	市内の中学・高校等と連携し乳幼児とのふれあいの機会づくりを充実させます。	単位：人						× 子育て応援課			
				R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度				
				25	0	4	0	0	0				
83	次代の親の育成《再掲No. 49》	次世代 子・若	市内の中学・高校等と連携し乳幼児とのふれあいの機会づくりを充実させます。	※ 年度末現在						○ こども育成課			
				ボランティアを受け入れるべく準備した。									
				項目名：子育て支援センターでの高校生ボランティア受入延人数									
84	次代の親の育成《再掲No. 49》	次世代 子・若	市内の中学・高校等と連携し乳幼児とのふれあいの機会づくりを充実させます。	単位：人						○ こども育成課			
				R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度				
				46	47	47	46	42	43				
85	次代の親の育成《再掲No. 49》	次世代 子・若	市内の中学・高校等と連携し乳幼児とのふれあいの機会づくりを充実させます。	※ 年度末現在						○ こども育成課			
				保育園31園、幼稚園3園、小規模保育3園、認定こども園4園、家庭的保育2人に対し、各種研修、就職相談会、研修生の派遣等の支援を実施しました。									

(4) 施設職員に対する支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等						担当課評価	令和6年度時 主な担当課名		
81	研修および人材確保等に対する支援の実施	子・若	教諭・保育士等の質を向上させるための研修や人材確保等に対する支援に努めます。	項目名：情報提供対象施設数						○ こども育成課			
				単位：園									
				R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度				
82	次代の親の育成《再掲No. 49》	次世代 子・若	市内の中学・高校等と連携し乳幼児とのふれあいの機会づくりを充実させます。	46	47	47	46	42	43	○ こども育成課			
				※ 年度末現在									
				保育園31園、幼稚園3園、小規模保育3園、認定こども園4園、家庭的保育2人に対し、各種研修、就職相談会、研修生の派遣等の支援を実施しました。									

(5) 放課後等の居場所づくりへの支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等						担当課評価	令和6年度時 主な担当課名		
82	地域居場所づくり	子・若	①子育て支援センターにおいて乳幼児の居場所づくりを支援します。 ②各市民センターや青梅市文化交流センターなど地域社会の中で、放課後に子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。	①子育て支援センターにおいては、乳幼児親子の受け入れを行った。また、子育て支援センターの和室を利用し、子育て支援講座も実施した。(子育て応援課) ②子育てひろばでは、事業内容を工夫するとともに居場所を提供した。(子育て応援課) ③子育て支援事業（センターひろば）を開催し、放課後の小学生の居場所確保に努めた。(子育て応援課) ④子育てひろばの会場提供等の協力をした。(市民活動推進課)						○ 子育て応援課 市民活動推進課			
				※ 年度末現在									
				保育園31園、幼稚園3園、小規模保育3園、認定こども園4園、家庭的保育2人に対し、各種研修、就職相談会、研修生の派遣等の支援を実施しました。									

4 働きながら子どもを育てる家庭への支援の充実

(1) 教育・保育サービスの充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名
83	保育所の情報提供	次世代	保護者に対し、保育所の情報提供を充実、強化します。	保育園利用についての保護者向けパンフレットを作製した。(7月に当年度改訂版300部、11月に次年度更新版1,900部)	○	こども育成課
84	夜間保育事業の促進	次世代 子・若	関係機関と実施について協議していきます。	夜間保育については、今のところニーズがないため実施してい。	—	こども育成課
85	子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)の検討	次世代 子・若	関係機関と実施について協議していきます。	現段階では、延長保育やショートステイ事業でニーズに対応できているため、今後の動向を見ながら検討することとした。 (子育て応援課)	—	こども育成課 子育て応援課

(2) 産後の休業および育児休業後の特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名												
86	子ども家庭支援センター事業の充実		子ども家庭支援センター事業については、組織の強化を含めて拡充し、総合相談、情報提供などを進めます。	項目名：子ども家庭支援センター相談件数 単位：件 <table border="1" data-bbox="793 707 1134 797"><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>1,152</td><td>1,161</td><td>1,251</td><td>1,159</td><td>1,213</td><td>1,152</td></tr></table> ※ 年度末現在 子供家庭支援ワーカーを増員し組織の強化を図り、総合相談や情報提供等に対応しました。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	1,152	1,161	1,251	1,159	1,213	1,152	○	こども家庭セン ター
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
1,152	1,161	1,251	1,159	1,213	1,152													

(3) 労働者の職業生活と家庭生活との両立

①仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名												
87	就学前教育の充実と 小学校との連携 (再掲No.11)		保育所・幼稚園と小学校が連携し、乳幼児期から学齢期への円滑な移行を図ります。	項目名：小学校の見学 単位：回 <table border="1" data-bbox="793 1156 1134 1246"><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>16</td><td>0</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td></tr></table> ※ 年度末現在 外部講師を招いた保育所・幼稚園・小学校合同研修を実施し連携・推進に努めた。(指導室)	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	16	0	16	16	16	16	○	指導室
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
16	0	16	16	16	16													
88	放課後子ども教室の 拡充		地域で子どもたちを育む環境づくりと 子どもたちの安心・安全な活動拠点づくりを推進します。	項目名：開設数 単位：箇所 <table border="1" data-bbox="793 1426 1134 1516"><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td></tr></table> ※ 年度末現在 東小を除く16校すべてで実施している。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	16	16	16	16	16	16	○	子育て応援課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
16	16	16	16	16	16													

②仕事と子育ての両立のための基盤整備

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名																																				
89	多世代・異年齢交流事業の推進		子どもたちが様々な人と出会い、ふれあうことのできる多世代・異年齢交流を推進します。	<p>項目名：子育て支援センターでの大学生インターンシップ受入延人数</p> <p>単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：子育て支援センターでの高校生ボランティア受入延人数</p> <p>単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td><td>0</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>子育て支援センターでは、ボランティアを受け入れるべく準備し、大学生インターンシップのみ申し込みがあった。放課後子ども教室においては、中学生および高校生のボランティアが参加している。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	10	0	1	0	1	1	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	25	0	4	0	0	0	○	子育て応援課												
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
10	0	1	0	1	1																																					
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
25	0	4	0	0	0																																					
90	子どもの居場所づくり ≪再掲No. 40≫	子・若	次世代育成支援地域協議会の検討報告書にもとづき、既存施設を利用し、子どもたちが身近で安全に遊べる場や安心できる居場所の確保を図ります。	<p>項目名：各市民センターにおける子育て支援事業利用人数</p> <p>単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,815</td><td>441</td><td>1,626</td><td>2,353</td><td>2,679</td><td>2,878</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>居場所として、市民センター等9か所における子育て支援事業や、子育て支援センター等18か所で子育てひろば事業を実施した。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	3,815	441	1,626	2,353	2,679	2,878	○	子育て応援課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
3,815	441	1,626	2,353	2,679	2,878																																					
91	子育てグループづくり		各施設における親子の遊びや交流・学習、母親学級などの機会を通して、親同士のコミュニケーションを図り、子育てグループの育成を図ります。	<p>項目名：子育て支援講座（B P 1）参加者数</p> <p>単位：組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43</td><td>14</td><td>26</td><td>25</td><td>28</td><td>15</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：子育て支援講座（B P 2）参加者数</p> <p>単位：組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>25</td><td>22</td><td>26</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：親子スキニシップ教室参加者数</p> <p>単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,796</td><td>990</td><td>738</td><td>869</td><td>852</td><td>1,135</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>生後2～5か月の乳児とその母を対象に、子育て支援センター等において、育児に関する講座を延べ32回実施しました。また、子育て支援に関する講座「親子スキニシップ教室」を8か所8回ずつ実施し、日曜日の家族参加型イベントとして「あつまれ！親子スキニシップ教室」を全3回実施しました。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	43	14	26	25	28	15	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	—	—	—	25	22	26	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	1,796	990	738	869	852	1,135	○	子育て応援課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
43	14	26	25	28	15																																					
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
—	—	—	25	22	26																																					
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
1,796	990	738	869	852	1,135																																					
92	保育所の整備・充実の支援		施設整備計画にもとづき、私立保育所等の整備、充実を支援していきます。	<p>項目名：対象園数</p> <p>単位：園</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>幼稚園の認定こども園化に伴う新園舎建替え工事を実施しました。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	4	2	1	2	2	1	○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
4	2	1	2	2	1																																					
93	延長保育事業の充実		2時間延長保育等の内容の充実を図ります。	<p>項目名：実施園数</p> <p>単位：園</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td><td>11</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>保育施設全園で30分～2時間の延長保育事業を実施した。うち、2時間延長保育を実施した園は8園となった。引き続き延長保育の充実を図っていく。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	14	11	8	8	8	8	○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
14	11	8	8	8	8																																					

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等						担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名													
94	休日保育事業の実施		休日保育の拡充を図ります。	項目名：利用人数	単位：人/年						—	こども育成課												
				<table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td></tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	△	△	△	△	△	△	※ 年度末現在							
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																			
△	△	△	△	△	△																			
				平成27年度から実施施設は無し。ニーズが少ない状況であるが、今後も実施施設を募っていく。																				
95	保育所・幼稚園等への巡回相談員等派遣事業の充実		市内全保育所および幼稚園等に、臨床心理士等の派遣による巡回相談を実施し、支援が必要な子どもと家庭の早期発見とその対応の充実を図ります。	項目名：派遣回数（幼稚園等）	単位：回						○	こども育成課												
				<table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>14</td><td>16</td><td>15</td><td>18</td><td>17</td><td>17</td></tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	14	16	15	18	17	17	※ 年度末現在							
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																			
14	16	15	18	17	17																			
				項目名：派遣回数（保育所）	単位：回						○	こども育成課												
				<table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>99</td><td>103</td><td>109</td><td>117</td><td>128</td><td>124</td></tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	99	103	109	117	128	124	※ 年度末現在							
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																			
99	103	109	117	128	124																			
				幼稚園等の要望に応じ、巡回相談の充実を図った。																				

(4) 子育て世代の保護者負担の軽減

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等						担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名													
96	義務教育就学児医療費助成の実施		義務教育就学児の医療費の自己負担の一部を助成します。	項目名：助成金額	単位：百万円						○	こども育成課												
				<table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>207</td><td>168</td><td>179</td><td>192</td><td>255</td><td>260</td></tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	207	168	179	192	255	260	※ 年度末現在							
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																			
207	168	179	192	255	260																			
				小学校入学から中学校卒業までの義務教育就学児に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適正に行なった。																				
97	幼稚園等保護者への支援		幼稚園等に在園する子を持つ保護者の負担軽減のため補助を行い支援します。	項目名：交付対象者数	単位：人						○	こども育成課												
				<table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>892</td><td>839</td><td>721</td><td>627</td><td>537</td><td>498</td></tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	892	839	721	627	537	498	※ 年度末現在							
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																			
892	839	721	627	537	498																			
				園児の保護者に対し、国の補助を受けて幼稚園施設等利用費補助金を、都の補助を受けて保護者補助金を、また、青梅市独自で入園料補助金および副食費補助金を交付した。																				
98	児童手当の支給		児童手当（国制度）の適正・迅速な支給を実施します。	項目名：助成金額	単位：百万円						○	こども育成課												
				<table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>1,812</td><td>1,742</td><td>1,684</td><td>1,612</td><td>1,533</td><td>1,735</td></tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	1,812	1,742	1,684	1,612	1,533	1,735	※ 年度末現在							
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																			
1,812	1,742	1,684	1,612	1,533	1,735																			
				中学校卒業までの児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行なった。																				
99	交通機関利用児童通学費補助		公共交通機関を利用して市立小学校・中学校へ通学する児童・生徒の保護者に対して、通学費を補助します。	項目名：通学定期利用人数	単位：人						○	子育て応援課												
				<table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>380</td><td>337</td><td>313</td><td>290</td><td>282</td><td>257</td></tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	380	337	313	290	282	257	※ 年度末現在							
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																			
380	337	313	290	282	257																			
				今後も引き続き補助を行なっていく。																				

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	令和6年度時 主な担当課名																																				
100	ひとり親家庭等への医療費助成の実施	子・若 貧困対策	ひとり親家庭等に対し、医療費を助成します。	<p>項目名：助成金額 単位：百万円</p> <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>53</td><td>54</td><td>55</td><td>54</td><td>56</td><td>55</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 ひとり親家庭等に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適正に行つた。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	53	54	55	54	56	55	○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
53	54	55	54	56	55																																					
101	情報提供の充実		ライフサイクルに応じた記載など、さらに充実した「子育て支援ガイド」を作成するとともに、子育て世代の保護者がスマートフォン等により子育て支援情報を取得できる子育てモバイルを運用します。	<p>項目名：子育て支援ガイド印刷数 単位：冊</p> <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>6,000</td><td>6,000</td><td>6,000</td><td>6,000</td><td>5,500</td><td>7,000</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：子育てモバイルアクセス数 単位：千件</p> <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>—</td><td>314</td><td>273</td><td>278</td><td>284</td><td>392</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：子育てモバイル新規登録者数 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>554</td><td>569</td><td>494</td><td>462</td><td>440</td><td>411</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 子育て支援ガイドは令和6年度から、市と印刷業者、青梅市子ども関連NPO団体連絡協議会との三者協定により作成し、大幅に内容を充実させた。 子育てモバイルの運用にあたっては内容を精査しコンテンツの充実を図るとともに、今後も有益な情報の提供に努めていく。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	6,000	6,000	6,000	6,000	5,500	7,000	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	—	314	273	278	284	392	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	554	569	494	462	440	411	○	子育て応援課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
6,000	6,000	6,000	6,000	5,500	7,000																																					
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
—	314	273	278	284	392																																					
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
554	569	494	462	440	411																																					
102	統合保育の充実	子・若	障害のある乳幼児を一緒に保育する統合保育を市内保育所等で実施し、必要な周知を図ります。	<p>項目名：入所児童数 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>98</td><td>106</td><td>124</td><td>124</td><td>174</td><td>157</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 令和6年度は認可保育所31園、小規模保育事業1園に障害児が入所している。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	98	106	124	124	174	157	○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
98	106	124	124	174	157																																					
103	第三者評価サービスの実施		利用者のサービス選択のための情報提供と保育サービスの質を確保するため、市内の全保育所で第三者評価サービスを実施します。	<p>項目名：実施園数 単位：園</p> <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>14</td><td>9</td><td>2</td></tr> </table> <p>※ 年度末現在 全保育所で3年に1回、第三者評価サービスを実施している。 令和6年度は認可保育所2園に対し受審経費の補助を行つた。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	1	2	3	14	9	2	○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
1	2	3	14	9	2																																					

5 保護者と子の健康づくり

(1) 保険・医療体制の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
104	休日診療の実施	次世代	日曜日、祝日および年末年始の急病患者に対し、青梅市休日夜間診療所において内科・小児科の診療を、青梅市休日夜間薬局において保険調剤を実施します。また、青梅市歯科医師会会員の各歯科医院の輪番方式により、応急歯科診療を実施します。	青梅市医師会、青梅市歯科医師会および青梅市薬剤師会の協力のもと、青梅市休日夜間診療所、青梅市休日夜間薬局は前年度と同様に、輪番方式による応急歯科診療も周知方法を工夫しつつ概ね順調に実施した。	○	健康課
105	平日夜間診療の実施	次世代	平日の夜間の急病患者に対し、青梅市休日夜間診療所において内科・小児科の診療を、青梅市休日夜間薬局において保険調剤を実施します。	青梅市医師会および青梅市薬剤師会の協力のもと前年度と同様に実施した。	○	健康課
106	市内医療機関の診療の実施	次世代	小児科を標ぼうしている市内の医療機関において診察します。また、青梅市立総合病院等において、第二次救急医療体制および第三次救急医療体制を行っています。	青梅市医師会、青梅市歯科医師会および青梅市薬剤師会の協力のもと前年度と同様に実施した。私的二次救急病院に対しては、救急体制確保にかかる補助金を交付し、当該事業の支援を行った。	○	健康課

(2) 保護者と子の健康づくり支援の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
107	むし歯予防教室の開催	次世代	8~12か月の子どもと親を対象に、むし歯予防教室を実施します。まだ、永久歯のほう出開始時期である5歳児に対し、むし歯予防教室（ビーバークラス）を実施します。	歯が生えてきたらどういう事に気を付けたら良いのか、乳歯のむし歯予防、歯の磨き方、離乳食の食べさせ方等を学ぶむし歯予防教室を年6回、永久歯が生え始める時期に、食育もかねて管理栄養士と一緒に5歳児むし歯予防教室（ビーバークラス）を年3回実施した。	○	こども家庭センター
108	「食育」の推進	次世代 子・若	望ましい食習慣の定着のための学習機会や情報の提供（乳幼児～思春期、妊娠期）を充実します。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行ましたが、離乳食や幼児食教室においては積極的な調理実習や試食は行わず、講義やデモンストレーションを取り入れた。 親子食育講座については年2回実施し、テーマに合わせ汁出の試飲や野菜嫌い克服のための試食を希望者に対し行ったほか、感染症・食中毒防止の観点から手洗いの実習を取り入れ衛生面の指導に努めた。	○	こども家庭センター

(3) 思春期保険対策の推進

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
109	思春期保険対策の推進	次世代 子・若	①発達段階に応じた適正性教育を行います。 ②喫煙・薬物乱用防止等の教育を充実します。 ③心の問題について相談体制の整備を図り、教育相談活動の充実に努めます。 ④市内の中学生を対象とした、薬物乱用防止のポスター・標語の募集を実施します。 ⑤市民を対象とした薬物乱用防止啓発活動を実施します。 ⑥東京都薬物乱用防止推進青梅・奥多摩地区協議会を開催し、薬物乱用防止に向けた取組の検討を行います。	①学習指導要領および各学校の性教育全体計画にもとづき、児童・生徒の発達段階を考慮しつつ、各教科との関連を図りながら実施した。（指導室） ②保健体育の授業やセーフティ教室等で、警察等と連携し、喫煙や薬物乱用防止についての教育を実施した。（指導室） ③スクールカウンセラーや教育相談所の心理相談員による相談を実施しました。（指導室、学務課） ④7月から9月にかけて市内の中学校に依頼し、薬物乱用防止ポスターと合わせて27点の応募があった。そのうち標語の優秀作6点について啓発活動に使用した。（健康課） ⑤市役所および健康センターにおいて、薬物乱用防止ポスター、標語等を使用して啓発活動を行った。（健康課） ⑥会議を年3回開催し、防止への取組の検討を行い、防止の推進を図った。（健康課）	○	健康課 指導室 学務課

6 支援が必要な子どもと家庭への支援の充実

(1) 子どもの虐待防止の取組の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
110	児童虐待の未然防止 と被害に遭った子どもの支援	次世代 子・若	学校、保育所、警察等の関係機関との連携強化を進め、育児虐待などの被害に遭った子どもに対し、カウンセリングなどの支援を行います。また保護者に対しては、家庭環境の改善に向けた指導・支援を行うとともに、学校や児童相談所、医療機関などの関係機関と、再発防止に向けた連携を充実させます。	<p>校長会等において、「児童虐待防止推進月間」について周知するとともに、早期発見や適切な対応について協議を行った。 (指導室)</p> <p>3~4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を行い、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努め、関係機関との連携に努めた。 (こども家庭センター)</p> <p>疑いを含めた虐待の通告・相談を受けた場合は、関係機関と連携を図り、家庭環境の改善に向けた指導・支援を行いました。また、虐待防止の啓発活動を目的に、市民を対象に講演会を実施した。 (こども家庭センター)</p> <p>青梅市障がい者サポートセンターとともに障害者虐待防止センターとして活動し、障がい者虐待防止に関するリーフレットの配架・周知を行い、虐待の未然防止に努めた。令和6年度の支援はなかったが、事実が発生した場合、関係機関との連携を図り、万一被害に遭った子どもには、ケア等の支援を行っていく。 (障がい者福祉課)</p>	○	こども家庭セン ター 指導室 障がい者福祉課

(2) ひとり親家庭等の自立支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
111	ひとり親家庭等の自立支援の推進	次世代 子・若 貧困対策	ひとり親家庭等の自立のためハローワークと連携した、自立支援プログラム事業を継続実施するとともに、資格の取得や教育訓練実施に対する支援を行います。	<p>自立支援プログラムを4件策定した。</p> <p>高等職業訓練促進給付金を18人、高等職業訓練修了支援給付金を10人にそれぞれ支給した。</p> <p>一般社団法人日本シングルマザー支援協会と連携し、ひとり親家庭サポート講座を開催した(参加者7名)。また、ひとり親家庭等訪問相談事業を行った(参加者4名)。</p>	○	子育て応援課

(3) 障害のある子どものいる家庭への支援の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
112	支援を必要とする子どもと家庭の早期発見・早期支援	次世代 子・若	各種の健診、新生児訪問事業やこにちは赤ちゃん事業など様々な機会を通じて、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努めます。	<p>3~4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を行い、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努めた。 (こども家庭センター)</p> <p>こにちは赤ちゃん事業により生後4か月までの乳児家庭を全件訪問する中で、保護者からの聞き取り等により、支援を必要としている家庭を発見し、必要な支援および機関へ繋げた。 (こども家庭センター)</p> <p>障害福祉施設等と情報共有し、必要な方がいつでも相談できるよう体制を整えた。 (障がい者福祉課)</p>	○	こども家庭セン ター 障がい者福祉課
113	障害児施策の充実	次世代 子・若	保健・医療・福祉・教育等が連携し、障害児の健全発達支援と生活支援を図るとともに、発達障害等への教育的支援を行います。また、特別支援教育への就学奨励を図るため、保護者の経済的支援を図ります。	<p>児童発達支援および放課後等デイサービスの利用を促進し、障害児の健全発達を目的とした療育を提供した。 (障がい者福祉課)</p> <p>発達障害等の児童生徒に対して、特別支援教室(東小・中学校除く全校)で支援を行った。 (学務課)</p> <p>特別支援学級へ通学している児童生徒の保護者に対し、学用品費等の特別支援学級就学奨励費を給与することにより経済的支援を行った。 (学務課)</p>	○	障がい者福祉課 学務課
114	特別支援教育の推進	次世代 子・若	①障害のある児童・生徒一人ひとりの能力を最大限に伸長するため、学校・家庭・地域および関係機関との密接な連携のもとに、乳幼児期から学校卒業後までのライフステージを見通し、施設の整備を含めた特別支援教育のさらなる展開を進めます。 ②リーフレットによる理解・啓発と保護者等に向けた研修会の充実を図ります。	<p>①特別支援学級(小学校6校、中学校5校)および特別支援教室(東小・中学校除く全校)で個に応じた支援を行った。 (学務課)</p> <p>②特別支援学級(霞台中)について会議室等を特別支援学級の教室として使用するため整備した。備品および消耗品を購入した。 (施設課・教育総務課・学務課)</p> <p>③リーフレットおよび研修会による理解・啓発を行った。 (学務課)</p>	○	施設課 教育総務課 学務課
115	心身障害者(児)緊急一時保護事業の実施	次世代 子・若	障害者(児)を在宅で介護している保護者が、疾病などの理由により介護することができ困難になった場合に、福祉員を派遣し、一時的な保護を行います。	令和6年度の支援はなかったが、事実が発生した場合、関係機関との連携を図り、緊急一時保護により、在宅介護をしている保護者の支援を行った。	—	障がい者福祉課
116	心身障害者(児)居宅介護事業の実施	次世代	障害支援区分にもとづき、法に定める居宅介護サービスのうち必要な支援を実施します。	施行細則にもとづき、適正なサービス提供を行い、心身障害者(児)の居宅介護支援を行った。	○	障がい者福祉課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
117	私立幼稚園への支援	次世代 子・若	心身障害児教育事業費補助を行い支援します。	平成29年度末をもって、補助金が廃止されました。都補助金へ移行。都が直接補助している。	-	こども育成課
118	地域活動支援センター事業の充実	次世代 子・若	地域で生活している障害者（児）およびその家族に対して、相談支援体制を整備し、必要な支援を行います。	障がい者福祉課が窓口になり、青梅市障がい者サポートセンターにおいて、相談体制の充実を図り、障害者およびその家族、関係機関からの相談に適切に対応するとともに、高次脳機能障害に対する普及啓発にも努めた。	○	障がい者福祉課
119	障害のある児童の居場所づくり	次世代 子・若	障害のある児童の放課後等における療育の場を整備し、安心して活動できる場所を提供します。	令和6年度は、放課後等デイサービスの利用は451人あり、障害児が安心して活動できる「居場所」を提供した。	○	障がい者福祉課

(4) 貧困による困難を抱える子どもたちへの支援

①教育の支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名												
120	私立幼稚園等・保護者への補助金 (再掲No. 149)	貧困対策	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付します。	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付した。	○	こども育成課												
121	受験生チャレンジ支援貸付事業 (再掲No. 150)	子・若 貧困対策	学習塾等の費用や高校や大学などの受験費用について、一定所得以下の世帯の方に無利子で貸付を行うことにより、中学3年生や高校3年生またはそれに準じる家庭への支援を行います。	広報「おうめ」およびホームページへの掲載や、市のLINE等のSNSで発信することでこの事業内容の周知に努めた。令和6年度においては、中学3年生および高校3年生等の家庭から、延べ503件の相談があり、122件の貸付を行った。	○	地域福祉課												
122	子どもの学習・生活支援事業	子・若 貧困対策	経済的な理由により十分な学習ができない小学3年生から6年生までおよび中学生を対象に、家庭訪問による学習支援やその保護者に対する進学指導等を行います。	項目名：利用者数(※年末末現在) 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> 令和2年度より対象学年を小学3年生へ引き下げ、小学3年生から中学生までを対象とした家庭訪問による学習支援を実施している。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	14	16	16	17	14	19	○	地域福祉課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
14	16	16	17	14	19													
123	ひとり親家庭高等学 校卒業程度認定試験 合格支援給付金 (再掲No. 143、 155)	子・若 貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	令和6年度は申請なし。 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益である。	-	子育て応援課												
124	就学援助	子・若 貧困対策	経済的な理由で小・中学校の教育費支出が困難な家庭に対し、学用品や修学旅行費等の一部および給食費等を援助します。	「青梅市就学の援助に関する規則」にもとづき、要保護、準要保護に準ずる程度に困窮している保護者へ必要な援助を行った。 令和6年度は564世帯（小学生492名、中学生327名）の家庭に対し、学用品や修学旅行費等の一部および給食費等を援助した。	○	学務課												
125	青梅市育英資金（奨 学金）融資	子・若 貧困対策	高校および大学等の就学奨励のため、保護者の方を対象とした奨学金を融資します。	「青梅市育英資金融資条例」にもとづき、奨学金の融資のあつせんを行った。 令和6年度末で、奨学金融資件数は114件。	○	学務課												
126	教育相談所	子・若 貧困対策	幼児・小学生・中学生に関しての不登校、学習、心配な行動などの様々な悩みについて相談に応じます。	教育相談所で令和6年度は来所相談を687件、電話相談を34件、メール相談2件実施した。相談件数が多い状況が続いているが、適切に相談活動を行っている。	○	学務課												
127	教育支援センター (旧適応指導教室) の設置（ふれあい学 級） (再掲No. 32)	子・若 貧困対策	①不登校の状態にある児童に対して、学校復帰を目指した指導や、ふれあい学級への入級を推進します。 ②ふれあい学級に通学している児童・生徒に対して、在籍校への復帰支援を行います。	①学校・登校支援室・教育支援センター等が連携し、不登校状態にある児童・生徒に対して、望ましい環境が提供できるよう支援を行った。（指導室） ②教育支援センターの経験豊富な指導員による指導を通じて、在籍校への復帰支援を行った。（指導室）	○	指導室												

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
128	特別支援教室	子・若 貧困対策	障害のある幼児・児童・生徒の生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導および必要な支援を行います。	東小・中学校を除く全小・中学校に設置している特別支援教室において、支援が必要な児童・生徒に対し適切な指導を行つた。(学務課)	○	学務課
129	学力向上対策事業 「スタディアシスト」	子・若 貧困対策	市民センター等において、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、教育課程時間外の土曜日に、算数・数学・国語の学習を支援します。	中学校3年生の高校等への進学を目的とし、民間教育事業者による外部人材を活用し、放課後や長期休業中に、S&Dたまごーセンター、福祉センターおよび青梅市役所においてスタディ・アシストを実施した。	○	指導室
130	学校の放課後補修事業「ステップアップクラス」	子・若 貧困対策	市内小・中学校において、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、放課後等に、算数・数学・国語の学習を支援します。	市内小・中学校 26校において、ステップアップクラス支援員112人を配置し、在籍校において学習を支援した。	○	指導室
131	放課後子ども教室 「タヤケランド」	子・若 貧困対策	小学校の余裕教室等を利用し、放課後にスポーツや文化活動のほか、様々な体験活動や学習機会を提供するとともに、地域住民との交流活動を行います。	小学校16校で体育館や教室、校庭を使い児童の安全安心な放課後の居場所として実施することができた。また、様々なスポーツや文化活動、体験活動、学習などの機会を提供することができた。スタッフも公募で募集した地域住民などにより安全に開催できた。 延べ参加者数は21,489人。	○	子育て応援課

②生活の支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名																								
132	自立相談支援事業	貧困対策	生活上での様々な問題に応じた継続的な相談を行い、必要な支援を相談者と一緒に考え、具体的なプランを作成し、自立に向けた支援を行います。	項目名：相談者数(※年度末現在) 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> <tr> <td>321</td> <td>562</td> <td>401</td> <td>379</td> <td>1,075</td> <td>1,493</td> </tr> </table> 項目名：延べ相談件数(※年度末現在) 単位：件 <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> <tr> <td>3,599</td> <td>8,779</td> <td>9,075</td> <td>7,312</td> <td>5,835</td> <td>5,553</td> </tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	321	562	401	379	1,075	1,493	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	3,599	8,779	9,075	7,312	5,835	5,553	○	地域福祉課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																									
321	562	401	379	1,075	1,493																									
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																									
3,599	8,779	9,075	7,312	5,835	5,553																									
133	家計改善支援事業	貧困対策	相談者が自分自身で家計の問題を把握し、適切な家計管理ができるよう支援します。	項目名：支援者数(※年度末現在) 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> <tr> <td>12</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	12	15	15	9	4	5	○	地域福祉課												
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																									
12	15	15	9	4	5																									
134	住居確保給付金事業 (再掲No. 151)	貧困対策	離職等により住居を失った方または失うおそれがある方で、就職に向けた活動をすることを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。	項目名：支給決定者数(※年度末現在) 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>134</td> <td>100</td> <td>40</td> <td>21</td> <td>6</td> </tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	2	134	100	40	21	6	○	地域福祉課												
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																									
2	134	100	40	21	6																									
135	乳幼児ショートステイ事業	貧困対策	保護者が病気、出産、出張等で一時的にお子さんを養育できない場合に、保護者に変わって7日間を限度に保育します。	保護者の病気、出産、出張等の理由により、延べ215件の乳幼児ショートステイの利用があった。	○	子育て応援課																								
136	子ども食堂推進事業	貧困対策	民間団体等が行う地域の子どもへ食事および交流の場を提供する取組について、その経費の一部を補助し、各中学校区に一か所程度の実施を目指します。	子ども食堂推進事業として、9団体に補助金を交付した。	○	子育て応援課																								

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名												
137	育児支援ヘルパー事業	貧困対策	産前・産後の母親の心身が不安定な時期であって、他に支援する者がなく、母親の体調不良、育児ストレス等で家事および育児が困難な妊娠婦に対して、無料でヘルパーを派遣します。	令和6年度は、育児支援ヘルパーの利用時間を拡大（4時間→最大24時間）した。利用者は17世帯85回。	○	子育て応援課												
138	こんにちは赤ちゃん事業 (再掲No. 65)	次世代 貧困対策	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等を把握することにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境を整備します。	生後4か月までの乳児に対し、民生・児童委員等による全戸訪問を行った。（訪問対象数 515件、訪問数 504件、転出等11件）	○	こども家庭センター												
139	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業	貧困対策	義務教育終了前のお子さんのいるひとり親家庭で、生活環境の激変により日常生活に支障がある場合、ホームヘルパーを派遣します。	項目名：ホームヘルプサービス実施世帯数 単位：件 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </table> ※ 年度末現在 R6は7件申請があり、増加している。 離婚後の生活の激変や職業訓練校等への通学など、支援の必要なひとり親世帯に有益な事業と捉えている。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	3	0	0	0	4	7	○	子育て応援課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
3	0	0	0	4	7													
140	市営住宅	貧困対策	住宅に困窮する世帯を対象として市が家族向けの住宅を設置・管理します。	令和6年度のあき室募集は11世帯入居し、うち1世帯が子育て世帯であった。 市営住宅は施設の修繕費の高騰等の理由により、数年前に比べ募集できる戸数を大幅に減らしているが、ニーズに応じて可能な限り供給に努めしていく。	△	住宅課												

③保護者に対する就労支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名
141	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 (再掲No. 153)	貧困対策	就職に必要な技能習得や資格の取得をするため、指定の教育訓練講座を受講し、終了した場合、受講費用の一部を支給します。	2人に支給した。 現在勤務している職場で時給が上がる等、資格を活かした就職・キャリアアップを促進につながった。	○	子育て応援課
142	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 (再掲No. 154)	貧困対策	就職に有利な国家資格（看護師等）を取得するために養成機関において修業する場合、給付金を支給します。	高等職業訓練促進給付金 18人 高等職業訓練修了支援給付金 10人 資格取得後、職場でのステップアップや更に上位の資格取得につながっている。	○	子育て応援課
143	ひとり親家庭高等学 校卒業程度認定試験 合格支援給付金 (再掲No. 123、 155)	子・若 貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	令和6年度は申請なし。 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益である。	-	子育て応援課
144	母子・父子自立支援 プログラム策定等事業	次世代 子・若 貧困対策	ひとり親家庭の母または父を対象に、個々の状況に応じた就職支援を母子・父子自立支援員が行います。	ハローワークと連携し、4件実施した。 生活環境を整えながら就職支援を行い、2件採用に結びつくことができた。	○	子育て応援課
145	就労支援員による就 労支援	貧困対策	生活に困窮している方を対象に、専門の相談員が、履歴書の書き方や面接の対応の相談、仕事に就くための支援をハローワークと連携して行います。	生活保護受給中の子育て世帯の就労支援について、相談業務を6世帯実施し、うち2世帯については就職に繋がった。	○	生活福祉課

④経済的支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課評価	令和6年度時 主な担当課名												
146	児童扶養手当	貧困対策	ひとり親家庭等の児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るために、児童扶養手当を支給します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>694</td><td>549</td><td>540</td><td>504</td><td>475</td><td>477</td></tr> </table> ※ 年度末現在 (R元の支払い対象は15か月分) ひとり親家庭等の児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行った。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	694	549	540	504	475	477	○	こども育成課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
694	549	540	504	475	477													
147	児童育成手当	貧困対策	ひとり親家庭等の児童の福祉の増進を図るために、児童育成手当（育成手当）を支給します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>375</td><td>369</td><td>361</td><td>341</td><td>338</td><td>332</td></tr> </table> ※ 年度末現在 ひとり親家庭等の児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行った。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	375	369	361	341	338	332	○	こども育成課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
375	369	361	341	338	332													
148	ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親医療証） (再掲No. 100)	貧困対策	ひとり親家庭等の保健の向上に寄与するとともに、ひとり親家庭等の福祉の増進を図るために、医療費の一部を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>53</td><td>54</td><td>55</td><td>54</td><td>56</td><td>55</td></tr> </table> ※ 年度末現在 ひとり親家庭等に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適正に行った。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	53	54	55	54	56	55	○	こども育成課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
53	54	55	54	56	55													
149	私立幼稚園等・保護者への補助金（幼稚園施設等利用費補助金・保護者補助金・入園料補助金） (再掲No. 120)	貧困対策	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るために、所得に応じて補助金を交付します。	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るために、所得に応じて補助金を交付した。	○	こども育成課												
150	受験生チャレンジ支援貸付事業 (再掲No. 121)	子・若 貧困対策	学習塾等の費用や高校や大学などの受験費用について、一定所得以下の世帯の方に無利子で貸付を行うことにより、中学3年生や高校3年生またはそれに準じる家庭への支援を行います。	広報「おうめ」およびホームページへの掲載や、市のLINE等のSNSで発信することでこの事業内容の周知に努めた。令和6年度においては、中学3年生および高校3年生等の家庭から、延べ503件の相談があり、122件の貸付を行った。	○	地域福祉課												
151	住居確保給付金事業 (再掲No. 134)	貧困対策	離職等により住居を失った方または失うおそれがある方で、就職に向けた活動をすることを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。	項目名：支給決定者数(※年度末現在) 単位：人 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr> <tr> <td>2</td><td>134</td><td>100</td><td>40</td><td>21</td><td>6</td></tr> </table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	2	134	100	40	21	6	○	地域福祉課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
2	134	100	40	21	6													
152	母子および父子福祉資金貸付	貧困対策	母子・父子家庭の方等を対象に、修学・就学支度等の各資金をお貸しします。	15人に貸付を行った。 ひとり親家庭の子の高校・上位学校への進学・修学に寄与している。	○	子育て応援課												
153	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 (再掲No. 141)	貧困対策	就職に必要な技能習得や資格の取得をするため、指定の教育訓練講座を受講し、終了した場合、受講費用の一部を支給します。	2人に支給した。 現在勤務している職場で時給が上がる等、資格を活かした就職・キャリアアップを促進につながった。	○	子育て応援課												
154	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 (再掲No. 142)	貧困対策	就職に有利な国家資格（看護師等）を取得するために養成機関において修業する場合、給付金を支給します。	高等職業訓練促進給付金 18人 高等職業訓練修了支援給付金 10人 資格取得後、職場でのステップアップや更に上位の資格取得につながっている。	○	子育て応援課												
155	ひとり親家庭高等学 校卒業程度認定試験 合格支援給付金 (再掲No. 123、 143)	貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	令和6年度は申請なし。 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益である。	-	子育て応援課												